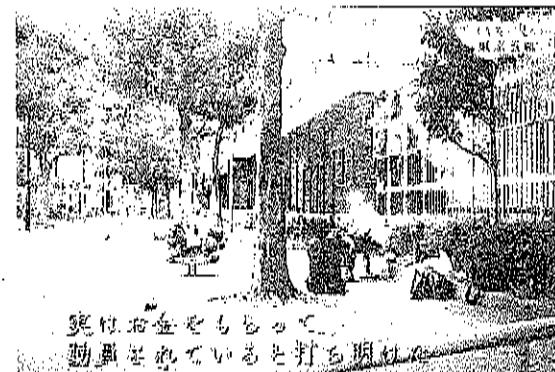


「五輪反対デモ参加」金もらうて「の字幕



BS1スペシャル「河瀬直美が見つめた東京五輪」の一場面。「実はお金をもらって勤員されていると打ち明けた」と字幕を入れて男性を紹介している=NHK BS1の放送から

昨年12月にNHK・BS1で放送した映画監督の河瀬直美さんと密着したドキュメンタリー番組について、制作したNHK大阪拠点放送局は9日、「字幕の一部に正確な内容があった」と明らかにして、陳謝した。番組に登場した男性について、難解をもつて五輪反対デモに参加していると字幕で説明したが、実際に男性がデモに参加していなかったという。加した事実は確認していないかったという。

取材相手の参加確認せず放送

番組は「BS1スペシャル 河瀬直美が見つめた東京五輪」。今年6月に公開予定の東京五輪の公式記録映画の制作を進める河瀬さんらに密着取材したもので、昨年12月26日に放送された。NHKは「取材と制作はすべてNHKの責任で行つてらる」とし、「河瀬さんは責任はない」としている。

NHKによると、不適切な字幕があったのは、河瀬さんの依頼で五輪反対を訴える市民らを取材していた別の映画監督に密着したシン。この監督が話を聞いていた隣の男性について、番組では「五輪反対デモに参加している」「お金をもらって勤員されていると打ち明けた」とトロップで紹介した。

NHK「不適切」と陳謝

ターチャーが独自に補足取材した内容に基づいて作成したが、実際には男性が五輪反対デモに参加した事実は確認できていなかった。

放送後、視聴者から複数

の問い合わせが寄せられたため、NHKは1月に再び男性に取材。男性が「過去に(五輪以外の)複数のデモに参加した」とがあり、金銭を受け取ったことがあった。「今後、五輪反対デモにも参加しよう」と考へている」といった趣旨の発言をしていたことが判明。字幕とは異なつていただといふ。NHKは提進の意図はなかつたと説明した上で、「制作担当者の思い違いや取材不足が原因。取材対象者や担当者間でのコミュニケーションが足りていなかつた」と言及。放送前に複数回の試写が行われたが、正には至らなかつたと

実施するところ。(西田理人)